



平成30年7月27日

各 位

会 社 名 リリカラ株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 山 田 俊 之
(コード番号9827)
問 合 せ 先
役 職 ・ 氏 名 取締役専務執行役員 佐藤伸男
電 話 03-3366-7845

平成30年12月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値との 差異に関するお知らせ

平成30年2月9日に開示した平成30年12月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

1. 平成30年12月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値の差異 (平成30年1月1日～平成30年6月30日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四 半 期 純 利 益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想 (A)	17,300	110	70	△10	円 銭 △0.81
今回実績 (B)	16,239	△188	△215	△212	△17.31
増減額 (B-A)	△1,060	△298	△285	△202	
増 減 率 (%)	△6.1	-	-	-	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成29年12月期第2四半期)	16,311	△70	△110	△80	△6.58

2. 差異の発生理由

平成30年12月期第2四半期累計期間における当社の業績につきましては、スペースソリューション事業は、顧客企業の設備投資意欲の高まりを受け、予想を上回る業績を上げることが出来ました。

一方、インテリア事業においては、当初見込んでいたオリンピック関連需要が盛り上りに欠け、作業員不足による工事日程のずれ込み、更に当社の得意分野である住宅分野においては新築需要のみならずリフォーム需要も想定を下回る結果となりました。この煽りを受け主力の壁装材、カーテンの売上高が予想を下回ったことを主因として、売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益は予想より減少いたしました。

3. 今後の見通しについて

平成30年12月期通期の業績予想につきましては、当社の業績は下期に利益が偏る傾向があります。また、インテリア事業においては、販売価格の改定を実施する予定であり、売上高の増加を図るべく施策を実行する所存であり、平成30年2月9日に開示した業績予想を据え置くこととさせていただきます。

以 上